

# あにわにわ 通信

## 第23号

「あにわにわ」とは、ニューージーランドの  
マオリ語で「虹」を意味しています。

2014.2.20

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

### 子育てひろば「あい・ぽーと」

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1

電話：03-5786-3250 FAX：03-5786-3256

E-mail：[info@ai-port.jp](mailto:info@ai-port.jp)

URL：<http://www.ai-port.jp>

### 人材養成事業推進室

住所：106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509

電話：03-6657-8539 FAX：03-3499-8539

E-mail：[station@ai-port.jp](mailto:station@ai-port.jp)

URL：<http://www.ai-port.jp>

法人代表理事・

恵泉女学園大学 大学院教授

大日向 雅美

二月に入って関東地方は何十年に一度  
という大雪に見舞われました。まさに早  
春賦「春は名のみ風の寒さや」の詞が  
身に沁みだ思いました。

この四月から消費税増税が実施されま  
す。生活防衛上の不安の声も聞かれます  
が、この増税分は社会保障に、わけても  
子ども・子育て支援の充実に充てられる  
ことに希望の光を見出したいと思いま  
す。国や各自治体において子ども・子育  
て会議が開催され、来年発足の新制度の  
構築に向けて熱い議論が交わされていま  
す。子育て環境がさらに改善されること  
を、そして、皆様の益々のご活躍をお祈  
りしております。



監事・公認会計士

松村 正一

子育てひろば「あい・ぽーと」が地域  
での子育て支援施設として開設以来十年  
を過ぎ、十一年目を走り出しています。  
ふれあい、まなびあい、わかちあい、そ  
だてあい、のあいと港区からの船出と寄  
港先としてのぽーとから「あい・ぽーと」  
と名付けたと聞いています。そしてこの  
名前がこの十年の活動を通して全国的に  
知名度を高めております。これはひとえ  
に大日向施設長の懸命な努力と新澤代表  
理事を始めとする各理事の積極的な支  
援・事務局の皆さんそして何より多くの  
サポーターの協力があつての賜物と拝察  
します。

当法人の目的は、子育て支援と女性の  
社会参加の支援を同時に達成することに  
あります。

これは今、国が喫緊の少子化対策とし  
て次代の社会を担う子どもを産み育てる  
ことに喜びを感じられる社会を目指して  
子ども・子育て支援を政策の重要な柱と  
して推進していることから「あい・ぽー  
と」はその先駆的リーダーとして大変重

要な社会貢献をしているものと思ってい  
ます。

十一年目を迎えて「あい・ぽーと」は、  
これからの更なる十年の経営でも積極的  
に提案できる法人であり続けてほしいと  
思います。そして、経営の安定の為に  
大日向代表理事の下、法人内に次代を担  
う人材を育成して頂くことを期待してい  
ます。

法人理事・バオバブ保育園小さな家

遠山 洋一

NPO法人「あい・ぽーとステーション」  
の設立、あれからも十一年目を迎  
えるのだなあと感慨深いものがあります  
私はその間そのごく一部をお手伝いして  
来ただけで、養成講座のレジュメも殆ど  
変えることなく来て、受講者の感想を拝  
見すると、私が思う以上に新鮮に聞いて  
下さっているようで、ちよつとほつとし、  
励まされても来ました。

世の中は、この十年で大きく変わりました。  
グローバル化した経済の下で金融  
を中心とした激しい動きに翻弄され、政  
治的には民主党政権の三年余を挟んで大  
きな揺り戻しがあり、新たに突きつけら  
れた原発問題をどう受け止め、未来をど  
う切り拓いて行くかの国民的合意も得ら  
れないままにきています。

子育て支援の分野では十年前の頃を思  
い返すと、次世代育成行動計画の策定が  
各自自治体で進められ、国レベルでは幼保  
にまたがる第三の総合施設の創設という  
課題を中心に活発な議論が行われており、  
各地のNPOが地域で様々な試みを始め  
ていました。

十年経った今、あの頃の機運が懐かし  
く感じられるのは私の個人的な、あるい

はローカルな感覚でしょうか。二〇一五  
年度から施行される子ども・子育て新シ  
ステムを機に、新たな展開が沸き起こる  
ことを期待したいところです。

法人理事・TVプロデューサー

堤 桂子

五年ほど前、子ども向けの新番組を立  
ち上げる機会がありました。あれこれ悩  
んだ末、「椅子」をキャラクターにして、  
番組の主人公にしよう！こう決めました。  
「え？なんで、また椅子なの！」周囲  
から何度もその理由を尋ねられ、不思議  
に思われましたが、私には「椅子」に込  
めたひとつの願いがありました。それは、  
“椅子”が子どもたちにとって心地よい  
居場所のシンボルになってくれると思っ  
たから。

もちろん、子どもにとって一番居心地  
のよいのは家であり、家族と一緒に場所  
でしょう。でも、子どもたちが成長して  
いくためには外に出て、少しずつ社会を  
広げていかなければなりません。子ども  
たちが、安心してのびのびできる居場所  
を見つけ、自分らしく過ごせる場を増や  
していくことは、すこやかな成長には欠  
かせないプロセスだと感じています。

子育てをめぐる環境が激変したといわ  
れる十年。あい・ぽーとは、ずっと子育  
て中の家族にとつて大切な居場所でした。  
どれだけの親子があい・ぽーとの存在に  
励まされ、助けられ育っていったらう  
と思う時、ほつと温かい気持ちにつつま  
れます。

これから次の十年も、その信頼が変わ  
ることは、きつとないでしょう。居心地  
の良さは、そこで待つスタッフの気持ち  
から生まれてくる、そう信じています。



# 支援者さん 活躍紹介

## 家庭的保育者（保育ママ）ご活躍

### 〈千代田区家庭的保育室「あい・ぽーと」小さな家東神田〉

#### 小さな家東神田 齋藤馨子

昨年9月2日にあい・ぽーと 小さな家 東神田が開室し、6ヶ月が経ちました。子ども達は小さな家での生活、保育者やお友達にも慣れ、毎日元気に登園しています。主張表現は様々ですが、小さくても、生きる力を感じます。大切なお子様を託されている親御さんにとって、小さな家東神田が安心できる第2のお家になるよう、子ども達一人ひとりに合わせた家庭的保育・子育て家族支援を保育者全員で進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。



### 〈浦安市（三友ママ・野田ママ）〉

#### 「保育ママの活動を通じて」 浦安市保育ママ 三友眞貴子

子育てが終わり、孫育ては一段落。これからは、地域の子育てに全力投球！こんな気持ちから昨年61歳で保育ママになりました。一所懸命、夢中で駆け抜けた一年間でした。

【保育目標】自立へのステップを一步一步、歩ませつつ、五感と好奇心を育てていく！【月毎の保育の狙い】を個人毎に定め、利用者の成長を見守りました。主なイベントは保護者参観を兼ねた昼食会・裏庭での野菜収穫、プール遊び・動物と触れ合う遠足・仮装を楽しむハロウィンパーティ・特技披露のXmasパーティ等々。沢山の思い出は、【〇ちゃんのあゆみ(これなあに)】に、一ヶ月ごとの作品と写真を収め、卒室の時に進呈します。

来年度も、ワクワク・ドキドキ感を心掛けて自立へのお手伝いをさせて頂く所存です。



#### 「じっくりと子どもに向える喜び、そして毎日が発見！」 浦安市保育ママ 野田まみ

保育ママを始めて1年。一人で上手くできるかしら・・・という不安からのスタートでした。「大変な母親(父親)業をサポートしたい！働く親を助きたい！」という強い思いが活動の出発点です。保育園勤務経験から少人数保育に興味を持ち、現在「保育ママ」という形で実現できていることは大きな喜びです。日々目覚ましく成長する子どもを「一人一人じっくりときめ細やかに育ちをサポートできる」ことは保育者として大きな満足感・充実感になっています。子どもの成長はもちろん、自分や補助者の方々の成長も感じ「毎日が発見」でいっぱいです。今では自分一人ではなく、親御さん・補助者・連携保育園・浦安市担当職員の協力体制により子どもを中心に助け合う保育・価値・感謝を実感したことが一番の発見です。未来に出会う子どもたちにも本当にワクワクしています。



## 保育士試験受験バックアップコース受講

### 13年度 保育士資格取得 栗田進二さん（子育て・家族支援者2級、子育て・まちづくり支援プロデューサー）

支援者3級の認定式が終わった翌週から「保育士試験受験バックアップ講座」を受講しました。教材と試験問題集を購入して独学する私にとって、各学科のどのような点が試験に出やすいか『受験』に絞り込んだ解説は、短期間に必要な知識を覚える上で大きな力になりました。1年目の受験は2科目が不合格。2年目は「法改正に伴う問題は必ず出る」というバックアップ講座のアドバイスを胸に刻み、設置基準の改正点などを重点的に学習したおかげで全科目合格、実技試験も無事にパスしました。ゼロからの出発で保育士証を手にしたのもバックアップ講座のおかげです。

今年も開講予定ですので、是非お誘い合わせの上、ご参加ください。

期間：3月1日（土）～7月26日（土）（日程の詳細はHPで）

対象：子育て・家族支援者及び子育て・家族支援者養成講座受講生

受講料：＜講義＞一般 15,000円 学生 8,000円 ＜実技＞一般 10,000円 学生 5,000円

会場：子育てひろば「あい・ぽーと」2F 多目的ホール

講師：大日向雅美（恵泉女学園大学大学院・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長）他

申し込み期限：2月20日（木）必着 ※ご希望の方は、要相談

お問い合わせは、あい・ぽーと 担当：高橋まで（TEL：03-5786-3250）

## 子育て・まちづくり支援プロデューサーさんご活躍

『子育て・まちづくり支援プロデューサーとは』

長年、企業や組織等で培った豊富な知識・技術・経験を地域の子どもや子育て世代のために発揮したいと願う熱意にあふれた団塊世代の男性たちです。“現役時代の名刺で勝負！”とうたった本法人が企画運営する人材養成講座を受講し、認定を受けたシニア男性たちです。

### ●まちプロさん認定までの流れ

2013年2月に行われた記念シンポジウムを皮切りに養成講座が開講しました。全8回の講座に55名の受講生が子育てやまちづくりに関わる講義に耳を傾け、意欲的に取り組みました。認定式では活動提案発表会が行われ、認定者から、団塊世代の男性が持つ特徴を活かした提案を発表しました。港・千代田区・浦安市のご担当者の方々からは提案実現に向けて前向きなお言葉を頂き、まちプロの本格的な門出となりました。

### ●2013年5月から今日までの活動について

講座を修了した36名が子育て・まちづくり支援プロデューサーとして、各々の趣味や得意な分野を活かし活動を行っています。

### 2013年

5/20～25 ウェルカムウィーク

6/22 ひだまり市場

7/31～8/9 千代田区フレンズビレッジ

8/7、8/26 花育講座

8/12 丸の内キッズジャンボリー

9/28 秋のひだまり市場

9/30～10/5 10周年ウィーク

10/6 みなとキッズフェスタ

12/14 エコ掃除

### 2014年

12/26、1/6 千代田区フレンズビレッジ〈冬休み〉

1/6～1/11 お正月ウィーク

### ●今後の活動予定

3/1 新春餅つき

3/15 港区子ども家庭支援センター  
お誕生日会+まちプロタイム

今後も、まちプロは地域の子育てを応援するために、豊富な知識と経験を活かして活動していきます。応援の程、どうぞよろしくお願い致します。

ひだまり市場



子育て中の皆さんの為に企画し運営を行いました。会場は買い物を楽しむご家族で賑わい、大盛況のイベントとなりました。

花育講座



恵泉園芸センターとの協働で、青山小・赤坂小のお子さんの夏休みの自由研究をお手伝いするプログラムを実施しました。暑い夏の日差しの中、市場見学やフラワーアレンジメント体験をサポートしました。

みなとキッズフェスタ



“働く”を体験するコーナーを実施しました。子ども達に寄り添いながら、一緒にお仕事体験プログラムを楽しみました。

お正月ウィーク



獅子舞に扮したまちプロさんがあい・ぽーとの館内を練り歩きました。お正月の伝統遊びも行われ、ひろばは一層賑わいました。



## 【バックアップ研修情報】

### 〈港区〉

三月四日(火)十二時～十三時三十分  
内容 支援現場Q&A  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 あい・ぽーと二階ホール

四月七日(月)十三時～十四時三十分  
内容 支援現場で求められるチームとしての動き  
講師 飯野智子(ホテルシヨラ函館総支配人)  
会場 あい・ぽーと二階ホール

五月十四日(水)十三時三十分～十五時  
内容 気になる子どもと親の理解と関わり方  
講師 上原芳枝(NPO法人リソースセンター)代表理事  
会場 あい・ぽーと二階ホール

### 〈千代田区〉

三月四日(火)十時～十一時三十分  
内容 国の施策等の情報提供と活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 児童家庭支援センター七階

四月七日(月)十時～十一時三十分  
内容 支援現場で求められるチームとしての動き  
講師 飯野智子(ホテルシヨラ函館総支配人)  
会場 千代田区役所四〇四会議室

五月十二日(月)十時三十分～十二時  
内容 支援現場における課題と助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 千代田区役所四〇四会議室

### 〈浦安市〉

#### 〔一般〕

三月五日(水)十四時十五分～十五時四十五分  
内容 国の施策等の情報提供と活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 総合福祉センター二階三・四会議室

四月十四日(月)十三時～十四時三十分  
内容 子育て・まちづくり支援プロデューサーの視点からみた地域支援  
～支援者との協働を目指して～  
講師 子育て・まちづくり支援プロデューサー  
会場 未定

五月九日(金)十時三十分～十二時  
内容 国の施策等の情報提供と活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 未定

### 〔ケアマネージャー〕

三月五日(水)十六時～十七時三十分  
内容 国の施策等の情報提供と活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授  
本法人代表理事)

会場 総合福祉センター二階  
三・四会議室・多目的室

### 〈高浜市〉

二月二十六日(水)①十一時～十二時三十分  
②十三時三十分～十五時  
内容 ①安全の確保とリスクマネジメント  
②個人情報保護  
講師 榎本三千雄  
(株)イー・ケア・サポート代表取締役  
会場 高浜市中央公民館 団体研究室(一階)

## 【講座情報】

十月～十二月にかけて、各地で子育て・家族支援者養成講座が実施されました。港区・千代田区・浦安市で二級講座が行われ、約二カ月間にわたる講座実習を修了し、総計三十六名の方が新しく子育て・家族支援者として認定・準認定を受けられました。二級にステップアップして派遣型保育の現場へ活躍の場を広げています。各自自治体で認定・準認定を受けられた方々の人数は、左記の通りです。

【港区】 子育て・家族支援者養成講座  
(二級十二期)  
認定者 十一名 準認定 二名

【千代田区】 子育て・家族支援者養成講座  
(二級五期)  
認定者 八名

【浦安市】 子育て・家族支援者養成講座  
(二級七期)  
認定者 二十二名 準認定 二名

### 支援者養成講座 開講中

【高浜市】(基礎研修)  
二〇一三年十二月十一日(水)  
～二〇一四年二月二十六日(水)

【子育て・まちづくり支援プロデューサー】  
(二期)  
二〇一三年十一月二十五日～三月一日

【港区】(三級十四期)  
二〇一四年一月十七日(金)  
～三月二十八日(金)



## 【人材養成スタッフより】

事務局長 池田由記

人材養成講座が開講してから、もうすぐ十年になります。その間、子育て支援の志を同じくする、沢山の皆様が、あい・ぽーとに集い、学びを深め、支援者として地域の子育て家庭のために、活躍して下さり、感謝しています。今後も、よろしくお願ひします。

人材養成推進室 室長 古閑祐樹

「子育て・家族支援者」の養成から始まった「あい・ぽーと」の人材養成も、「子育て・まちづくり支援プロデューサー」の養成と繋がり、各地のニーズに合わせながら発展しています。一人ひとりのお力を子育て家庭に届けていけるよう、これからも取り組んで参ります。

講座運営・管理・企画 主任 齋藤洋未

カリキュラム作成段階から認定者輩出に至るまで、各自自治体の皆様や講師の先生方には大変お世話になり、感謝です。新たな知識を得て喜び、活動への意欲を語られる受講生のお姿に、私も力付けられます。

サポート事業 主任 松野下幸恵

支援者さんと利用者さんをつなぐパイプ役をしております。一人でも多くの方のご支援ができるようお手伝いさせていただきますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

人材養成推進室 高橋喜子

子育て・まちづくり支援プロデューサーの皆様から、日々学ぶことも多く、感謝の限りです。今後、まち・プロの名前がより一層広がってゆきますよう、お力添え頂ければ幸いです。

千代田区担当 蒲生好永

千代田子育てサポート事業は、活動の場の拡大に伴い、支援者さんの益々の活躍により、重要な役割を担っています。私も支援者さんのつながりを大事に、サポートを務めたいと思います。